

Roland VersaWorks  
RIP & PRINT MANAGEMENT SOFTWARE

Roland VersaWorks Dual  
RIP & PRINT MANAGEMENT SOFTWARE

# ホワイト & グロスインクガイド

第1章 はじめに ...3

第2章 準備編 .....9

第3章 印刷編 .....19

第4章 詳細編 .....43

対象機種：  
LEC-330/LEC-540  
LEJ-640  
LEF-20/LEF-300

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、大切に保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、当社あてにご連絡ください。
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

目次 .....	1
<b>第1章 はじめに .....</b>	<b>3</b>
1-1 本書の前提と関連マニュアル .....	4
本書の前提 .....	4
関連マニュアルについて .....	4
VersaWorks オンライン / ヘルプについて .....	5
1-2 ホワイトインクの特長と印刷方法 .....	6
ホワイトインクの特長 .....	6
ホワイトインクによる印刷方法 .....	6
1-3 グロスインクの特長と印刷方法 .....	7
グロスインクの特長 .....	7
グロスインクによる印刷方法 .....	7
<b>第2章 準備編 .....</b>	<b>9</b>
2-1 プリンタの準備 .....	10
プリンタの設定とメディアのセット .....	10
2-2 VersaWorks の準備 .....	11
VersaWorks を起動する .....	11
PS ファイルの出力用フォルダを作成する .....	11
2-3 印刷データの準備 .....	13
印刷データ作成の考え方 .....	13
印刷データを作成する .....	13
<b>第3章 印刷編 .....</b>	<b>19</b>
3-1 はじめに .....	20
印刷を始める前に .....	20
印刷モードについて .....	20
3-2 ホワイト / CMYK インクを使って印刷する .....	22
ホワイトインクとCMYKインクを同時に印刷する .....	22
ホワイトインクのみを使って印刷する .....	26
CMYKインクのみを使って印刷する .....	28
3-3 グロスインクを使って印刷する .....	30
光沢仕上げ印刷（ホワイト / CMYK ⇄ グロス） .....	30
マット仕上げ印刷（ホワイト / CMYK ⇄ グロス） .....	32
マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する） .....	34
エンボス仕上げ印刷（ホワイト / CMYK ⇄ グロス） .....	36
グロスインクのみを使って印刷する .....	41
<b>第4章 詳細編 .....</b>	<b>43</b>
4-1 より進んだ印刷設定 .....	44
ジョブごとに印刷設定を行う .....	44
4-2 より進んだ印刷データの作成 .....	45
ホワイト / CMYK ⇄ グロス：設定変更をなるべく少なくしたい .....	45
特色版を生成する .....	50
4-3 ステッカーを作る（印刷後にカッティング） .....	51
ステッカー製作の概要 .....	51
CMYK またはホワイトインクを使った印刷でステッカーを作る .....	51
グロスインクを使った印刷でステッカーを作る .....	51

4-4	印刷データを合成する.....	52
	CMYK のみの印刷データとホワイト（またはグロス）のみの印刷データを合成する.....	52
4-5	テクスチャ印刷を行う.....	57
	テクスチャ印刷とは.....	57
	テクスチャチャートを印刷する.....	57
	テクスチャ印刷データを作成する.....	59
	テクスチャ印刷を行う.....	65
4-6	特色版の位置とサイズを調整する.....	66
	位置補正をする.....	66
	サイズ補正をする.....	68

本書は、VersaUV シリーズ共通のマニュアルです。本書内のイラストはおもに LEC-540 のものを使用しています。本書では、コンピュータの画面上で「Roland VersaWorks」、「Roland VersaWorks Dual」と表記されている場合を除いて、「Roland VersaWorks」と「Roland VersaWorks Dual」を「VersaWorks」と表記しています。

本ソフトウェアおよび本マニュアルの著作権は、ローランド ディー・ジー・株式会社にあります。本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual は、ローランド ディー・ジー・株式会社の登録商標です。

Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium® は、米国インテル社の登録商標です。

Macintosh は、米国 Apple Inc. の登録商標です。

Adobe、PostScript、PostScript 3、及び Illustrator は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国々における商標または登録商標です。©2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

# 第1章

## はじめに

---

1-1	本書の前提と関連マニュアル.....	4
	本書の前提 .....	4
	関連マニュアルについて.....	4
	VersaWorks オンライン / ヘルプについて .....	5
1-2	ホワイトインクの特長と印刷方法.....	6
	ホワイトインクの特長.....	6
	ホワイトインクによる印刷方法 .....	6
1-3	グロスインクの特長と印刷方法.....	7
	グロスインクの特長.....	7
	グロスインクによる印刷方法.....	7

# 1-1 本書の前提と関連マニュアル

## 本書の前提

本書は「Roland VersaWorks」と「Roland VersaWorks Dual」共通のマニュアルです。

本書では、「Roland VersaWorks」または「Roland VersaWorks Dual」を「VersaWorks」と表記しています。（※コンピュータの画面上で「Roland VersaWorks」または「Roland VersaWorks Dual」と表記されている場合を除く）

本書内のイラストは主に「Roland VersaWorks Dual」のものを使用しています。

本書に掲載されている説明や操作手順は、次の作業がすべて完了していることを前提としています。

- ▶ VersaUV シリーズプリンタ（以下「プリンタ」）の組み立てや設置など、プリンタのハードウェア的なセットアップ
- ▶ Roland VersaWorks のコンピュータへのインストール、プリンタとコンピュータの接続などのソフトウェア的なセットアップ

## 関連マニュアルについて

本書をお読みになる前に以下の取扱説明書をお読みになり、必要なセットアップを済ませておいてください。

①「セットアップガイド」（LEF シリーズは「ファーストステップガイド」）

プリンタを使えるようにするための準備や、守っていただきたい設置場所の条件について説明されています。必ずお読みください。（LEF シリーズは「はじめての印刷」まで説明しています。）

②「ユーザーズマニュアル」（LEF シリーズは「マスターガイド」）

詳しい操作方法について説明されています。①に引き続き、必ずお読みください。

③「VersaWorks クイックスタートガイド」（または、「VersaWorks Dual インストールガイド」）

第1章「VersaWorks の設定」には、ソフトウェアのインストール手順が説明されています。②に引き続き、必ずお読みください。

## VersaWorks オンライン / ヘルプについて

### VersaWorks オンライン

本書では、ホワイトインクとグロスインクを使用して印刷を行うための基本的な方法を説明しています。もちろん、ホワイトインクとグロスインクを使った印刷方法は本書に載っている方法だけではありません。ホワイトインクを使って Illustrator の透明機能を使うなど本書には記載していない特殊な印刷を行うこともできます。これらの詳細な印刷方法の情報や VersaWorks の最新情報は、VersaWorks オンラインでご覧いただくことができます。

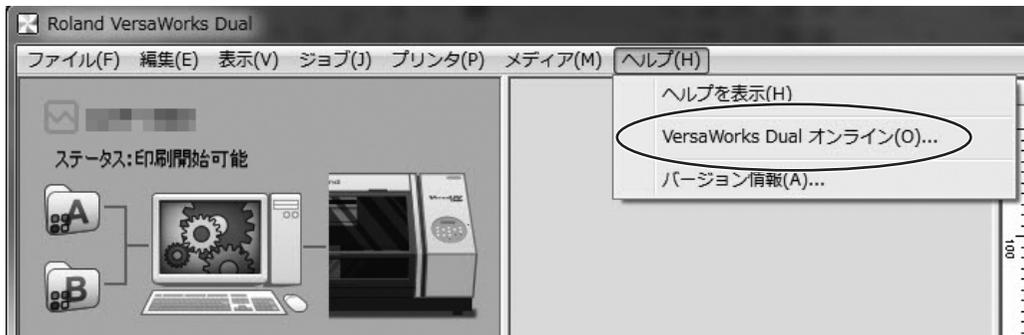
VersaWorks の機能をもっと知りたい、またはホワイトインクやグロスインクをより効果的に使用したい場合は、ぜひ VersaWorks オンラインを訪れてください。

URL : <http://www.rolanddg.co.jp/support/color/rvw/index.html>

メインメニューから、[ヘルプ]-[VersaWorks オンライン]をクリックして表示することもできます。

### VersaWorks ヘルプ

VersaWorks ヘルプは、コンピュータの画面で見える取扱説明書です。VersaWorks をインストールすると見ることができます。VersaWorks の詳細な説明が書かれています。



# 1-2 ホワイトインクの特長と印刷方法

## ホワイトインクの特長

プリンタで使用する専用ホワイトインクは高濃度と高隠ぺい性を実現した、ホワイトと CMYK カラーを重ねて印刷しても美しい表現が可能なインクです。透明フィルムへの印刷に適しており、店舗内装やディスプレイ、ペットボトルなどのパッケージ、ステッカーなどの製作に活用できます。

## ホワイトインクによる印刷方法

### ホワイトと CMYK で印刷する

ホワイトインクと CMYK インクを使って印刷する場合、プリンタはホワイトインクと CMYK インクを使う部分を同時に印刷しますので送りによるズレのない安定した高精細な印刷が可能です。透明フィルムを使って印刷する場合は、画像を反転したりホワイトと CMYK の塗り順を変えたりすることで印刷面の反対側から見せるという表現も可能です。

⇒ P.22 「ホワイトインクと CMYK インクを同時に印刷する」

### ホワイトのみ／CMYK のみを印刷する

ホワイトインクのみ、あるいは CMYK インクのみで印刷することもできます。印刷面の反対側から見せるには、画像を反転して印刷します。

⇒ P.26 「ホワイトインクのみを使って印刷する」、P.28 「CMYK インクのみを使って印刷する」

# 1-3 グロスインクの特長と印刷方法

## グロスインクの特長

プリンタで使用する専用グロスインクは無色透明のインクで、出力物に光沢感を与えたり耐候性や堅ろう性を向上させたりすることができるインクです\*。また、印刷設定によってあえて光沢感をなくしてマット仕上げにしたり、グロスインクを塗り重ねて印刷面を盛り上げたエンボス仕上げにすることもできます。  
※ 使用するメディアや環境などの印刷条件によって、光沢感、耐候性、堅ろう性は異なります。

## グロスインクによる印刷方法

### 光沢仕上げ印刷

出力物に光沢感を持たせた仕上がりにする印刷方法です。グロスインクのコーティングにより、光沢感のある仕上がりと高い耐候性や堅ろう性を得ることができます。

ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引戻してからグロスインクを塗り重ねます。

⇨ P. 30 「光沢仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK ⇨ グロス)」

グロスインクのみでの印刷も可能です。

⇨ P. 41 「グロスインクのみを使って印刷する」

### マット仕上げ印刷

光沢感をなくして落ち着いた感あるマット仕上げにする印刷方法です。ホワイトや CMYK にグロスインクを塗り重ねて耐候性や堅ろう性を高めながら光沢感は抑える、といった表現が可能です。

ホワイトインクを使用する場合は、ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引き戻してからグロスインクを塗り重ねます。

⇨ P. 32 「マット仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK ⇨ グロス)」

ホワイトインクを使用しない場合、引き戻しをせずに CMYK インクとグロスインクを一度に印刷できます。

⇨ P. 34 「マット仕上げ印刷 (CMYK とグロスを一度に印刷する)」

グロスインクのみでの印刷もできます。

⇨ P. 41 「グロスインクのみを使って印刷する」

### エンボス仕上げ印刷

グロスインクを塗り重ねて出力物に立体感を与えることのできる印刷方法です。印刷面を盛り上げる高さは、塗り重ねる回数を VersaWorks で設定することで決めます。この設定回数分塗り重ねてから、最後にもう一度グロスインクを塗り重ねて光沢仕上げにします。

ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引戻してからグロスインクを塗り重ねます。

⇨ P. 36 「エンボス仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK ⇨ グロス)」

グロスインクのみでの印刷も可能です。

⇨ P. 41 「グロスインクのみを使って印刷する」



# 第2章

## 準備編

---

2-1	プリンタの準備 .....	10
	プリンタの設定とメディアのセット .....	10
2-2	VersaWorks の準備 .....	11
	VersaWorks を起動する .....	11
	PS ファイルの出力用フォルダを作成する .....	11
2-3	印刷データの準備 .....	13
	印刷データ作成の考え方 .....	13
	印刷データを作成する .....	13

## 2-1 プリンタの準備

### プリンタの設定とメディアのセット

※ LEF シリーズは、付属取扱説明書を参照してプリンタの設定とメディアのセットを行ってください。

---

#### 透明フィルムを使用する場合（LEC-330 /540、LEJ-640）

---

透明フィルムを使用する場合、プリンタ側で印刷に必要な設定とメディアのセットを行います。

#### 手順

---

- ① プリンタ側のメニューで次の設定を行う。  
LEC-330 / 540 の場合  
[エッジ ケンシュツ] を「ムコウ」にする。  
LEJ-640 の場合  
[シートタイプ] を「トウメイ」にする。
- ② プリンタにメディア（透明フィルムまたは透明フィルム糊付）をセットする。  
※ メディアが反ったり浮き上がったりするときは、用紙の前端から印刷開始位置までの余白を 20 cm 程度とってください。  
※ メディアクランプを使用してください。

---

#### 透明フィルム以外のメディアを使用する場合（LEC-330 /540、LEJ-640）

---

「ユーザーズマニュアル」に記載されている方法でメディアをセットしてください。

## 2-2 VersaWorks の準備

### VersaWorks を起動する

お使いのコンピュータで VersaWorks を起動します。VersaWorks をご使用の場合は、「Roland VersaWorks Dual」を「Roland VersaWorks」と読み替えて操作してください。

#### 手順

#### ① Windows 10

スタートメニューから「すべてのアプリ」→「Roland VersaWorks Dual」→「Roland VersaWorks Dual」をクリックする。

#### Windows 8.1

「スタート」画面で  クリックし、アプリ画面から「Roland VersaWorks Dual」をクリックする。

#### Windows 8

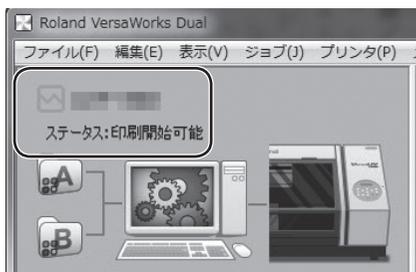
「スタート」画面の何も無いところで右クリックしてアプリバーを表示させる。「すべてのアプリ」から「Roland VersaWorks Dual」をクリックする。

#### Windows 7

「スタート」メニューから「すべてのプログラム (または「プログラム」)」→「Roland VersaWorks Dual」→「Roland VersaWorks Dual」をクリックする。

メイン画面が表示されます。

#### ②



メイン画面左上にお使いのプリンタの機種名 (またはニックネーム) が表示され、「ステータス」が「印刷開始可能」になっていることを確認する。

### PS ファイルの出力用フォルダを作成する

本書で説明する印刷操作では、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトから印刷用のデータを PS ファイルとして出力し PS ファイルを使って実際の印刷を行います。このため、PS ファイルの出力先となるフォルダをあらかじめ作成しておくとう便利です。PS ファイルの出力先フォルダは、ローカルディスクのルートディレクトリに作成することをおすすめします。

#### 手順

#### ① Windows 10

画面左下の「Web と Windows を検索」で「PC」を検索し、「ローカルディスク (C:)」アイコンを開く。

#### Windows 8.1

「スタート」画面で  クリックする。アプリ画面から「PC」をクリックし、「ローカルディスク (C:)」アイコンを開く。

### Windows 8

「スタート」画面の何も無いところで右クリックしてアプリバーを表示させる。「コンピューター」をクリックし、「ローカルディスク (C:)」アイコンを開く。

### Windows 7

「コンピューター」(または「マイコンピューター」)を開き、続いて「ローカルディスク (C:)」アイコンを開く。

2



「新しいフォルダー」を作成する。

ファイル>新規作成>フォルダーをクリック、またはメニューから「新しいフォルダー」をクリックしてください。

3



作成された新規フォルダーに名前を付ける。

例：「white-gloss\_print」

## 2-3 印刷データの準備

### 印刷データ作成の考え方

#### ホワイトインクを使って印刷したい場合

「RDG\_WHITE」という名前のスポットカラーを、ホワイトインクで印刷したい部分に適用します。

#### グロスインクを使って印刷したい場合

「RDG\_GLOSS」という名前のスポットカラーを、グロスインクで印刷したい部分に適用します。

### 印刷データを作成する

ホワイトインクやグロスインクを使用して印刷するためのデータを作成します。

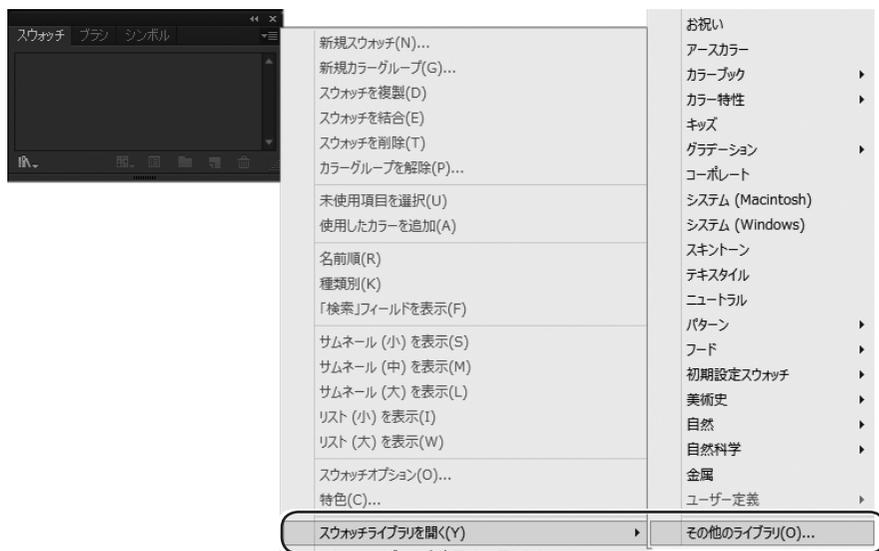
なお、ここでの説明は Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

#### 1. 専用のスウォッチライブラリを開く

- 1 スウォッチパレットのメニューから [スウォッチライブラリを開く] → [その他のライブラリ] をクリックする。

「ライブラリを選択」画面が表示されます。

※スウォッチパレットは、メニューから [ウィンドウ] → [スウォッチ] を選択すると表示されます。



- ② ①「ローカルディスク (C:)」から、「Roland VersaWorks.ai」を選択する。  
VersaWorks Dual をご使用の場合は、「Roland VersaWorks」を「Roland VersaWorks Dual」と読み替えて操作してください。

「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」→「Roland VersaWorks」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland VersaWorks.ai」を選択します。

お使いのコンピュータの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。Windows バージョン別の「ローカルディスク (C:)」開き方は、11 ページを参考にしてください。

- ②〔開く〕をクリックする。

「RDG\_WHITE」と「RDG\_GLOSS」が入ったスウォッチライブラリが開きます。



### Tips!

手順 ② で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustrator のライブラリにそれぞれのスウォッチライブラリを登録できます。登録すると、Adobe Illustrator を起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CS6\Presets\言語の短縮名称\スウォッチ

※「C」はお使いのコンピュータのローカルディスクです。

※「言語の短縮名称」はお使いの言語によって異なります。

※ お使いの Illustrator のバージョンによっては、「¥Presets¥言語の短縮名称¥スウォッチ」が「¥プリセット¥スウォッチ」の場合があります。

## 2. イラストを作成し、任意の部分にスポットカラーを指定する。

- ① イラストを作成する。  
※イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。
- ② 印刷したいインクに適合するスポットカラーを指定する。

使用したいインクまたはカラー	スポットカラー名
ホワイトインク	RDG_WHITE
グロスインク	RDG_GLOSS



### 3. PS ファイルを作成する。

①



① メニューから「ファイル」→「プリント」を選択する。

② 「RolandVW」(または、「RolandVWD」)を選択する。

③ [プリンター] をクリックする。

④ [続行] をクリックする。



次ページに続く

2



①「ファイルへ出力」にチェックを付ける。

②「詳細設定」をクリックする。

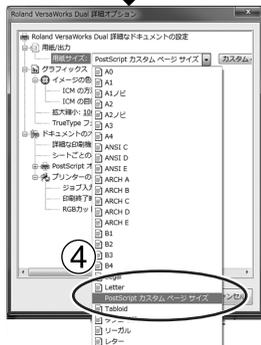


③「レイアウト」タブ内の「詳細設定」をクリックする。

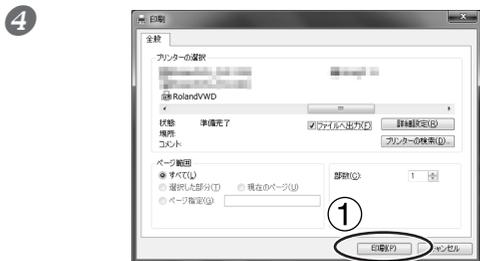
④「用紙サイズ」として「PostScript カスタムページサイズ」を選択する。

⑤「カスタムページサイズの設定」の「幅」と「高さ」の各欄をそれぞれ入力する。

手順 2. で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。

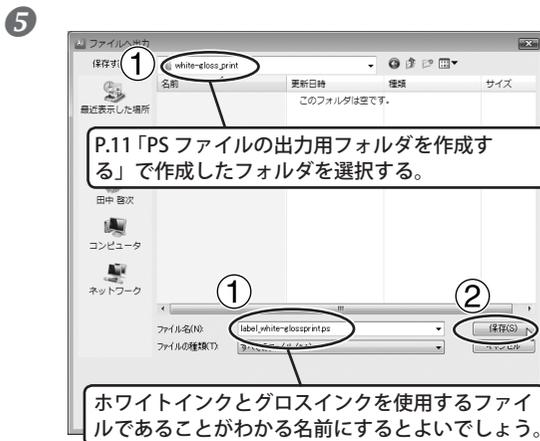


- ③ [OK] を3回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」（または「Roland VersaWorks Dual 詳細オプション」）、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。  
「印刷」ダイアログに戻ります。



① [印刷] をクリックする。

② [プリント] をクリックする。



- ⑥ 保存先のフォルダを開いて、ファイルが生成されていることを確認する。

# 第3章

## 印刷編

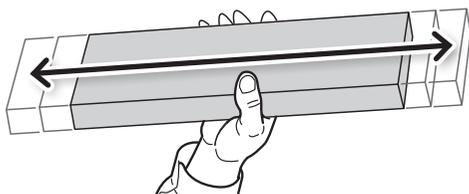
---

3-1	はじめに.....	20
	印刷を始める前に.....	20
	印刷モードについて.....	20
3-2	ホワイト／CMYK インクを使って印刷する.....	22
	ホワイトインクとCMYK インクを同時に印刷する.....	22
	ホワイトインクのみを使って印刷する.....	26
	CMYK インクのみを使って印刷する.....	28
3-3	グロスインクを使って印刷する.....	30
	光沢仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄グロス）.....	30
	マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄グロス）.....	32
	マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）.....	34
	エンボス仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄グロス）.....	36
	グロスインクのみを使って印刷する.....	41

## 3-1 はじめに

### 印刷を始める前に

- ▶ ホワイトインクカートリッジだけをいったん抜き、インクカートリッジを 50 回（15 秒程度）振ってから再び差し込んでください。
- ▶ ホワイト以外のインクカートリッジは、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください。



インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジの両端 5cm の振り幅で水平に振ります。

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、上記を必ず行ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。

### 印刷モードについて

本機で印刷を行う場合、インクの種類や印刷方法（同時印刷／ホワイトのみ／CMYK のみ／光沢仕上げ／マット仕上げ／エンボス仕上げ）、出力物の見せ方（印刷面側から見せる／印刷面の反対側から見せる）によって「印刷モード」を設定することが必要です。ここではまず、印刷モードの種類とその概要を説明します。

印刷モード	概要	ページ
White → CMYK、 または White → CMYK (v)	同時印刷用の印刷モードです。ホワイトと CMYK の印刷は同時に行われますが、インクはホワイト→CMYK の順に重なります。	P.23
CMYK → White、 または CMYK → White (v)	同時印刷用の印刷モードです。ホワイトと CMYK の印刷は同時に行われますが、インクは CMYK→ホワイトの順に重なります。	P.24
White、または White (v)	ホワイトのみで印刷するモードです。	P.26
CMYK、または CMYK (v)	CMYK のみで印刷するモードです。	P.28

GlossVarnish (v)	<p>光沢仕上げ用の印刷モードです。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。</p> <p>この印刷モードの場合、グロスインクのみを使って印刷することもできます。(*)</p>	<p>P.30 (*)P.41</p>
MatteVarnish (v)	<p>マット仕上げ用の印刷モードです。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。</p> <p>この印刷モードの場合、グロスインクのみを使って印刷することもできます。(*)</p>	<p>P.32 (*)P.41</p>
<p>CMYK → MatteVarnish、 または CMYK → MatteVarnish (v)</p>	<p>マット仕上げ用の印刷モードです。CMYKとグロスインクの印刷は同時に行われますが、インクはCMYK →グロスの順に重なります。</p>	<p>P.34</p>
Embossing (v)	<p>エンボス仕上げ用の印刷モードです。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻しグロスインクを塗り重ねます。</p> <p>この印刷モードの場合、グロスインクのみを使って印刷することもできます。(*)</p>	<p>P.36 (*)P.41</p>

## 3-2 ホワイト／CMYK インクを使って印刷する

### ホワイトインクと CMYK インクを同時に印刷する

ホワイトインクと CMYK インクの両方を使って印刷する方法を説明します。この印刷方法では CMYK とホワイトを同時に印刷しますが、仕上がりの見せ方（印刷面側／印刷面の反対側）、またはどちらのインクを下地にするかによって印刷設定を変えます。

#### 手順

- 1 VersaWorks の準備、印刷データの準備、プリンタの準備（P.9「第2章 準備編」）

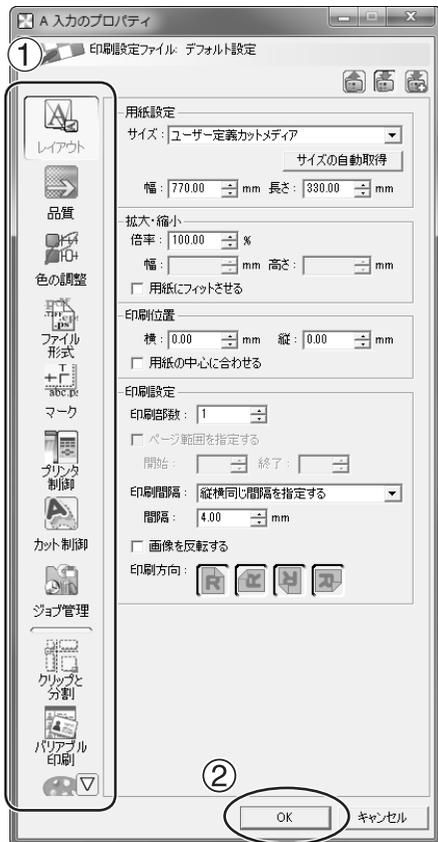
2



 をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

3

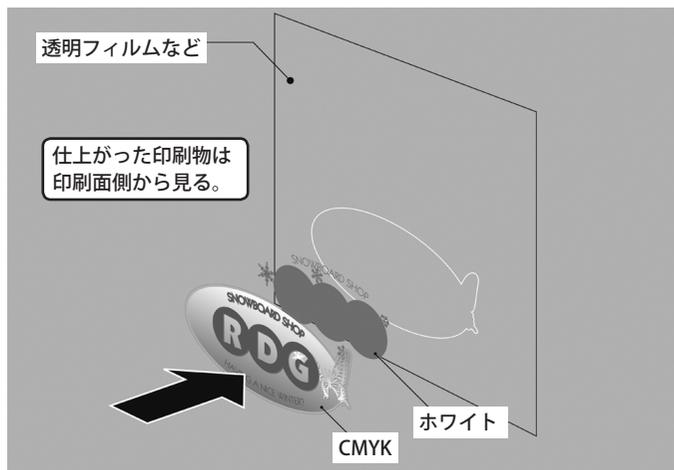


① 「A 入力のプロパティ」画面で印刷の基本設定を行う。

画面左側のアイコンをクリックすると右側の表示が切り替わります。次の表を見て、各項目の設定を行ってください。

② 設定が済んだら [OK] をクリックする。  
「A 入力のプロパティ」画面を閉じます。

## 仕上りを印刷面側から見せたい場合（ホワイトインクを下地にする）



※ ホワイトインクと CMYK インクは同時に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

アイコン	設定項目	設定
 レイアウト	画像を反転する	チェックを外す
 品質	用紙の種類	一般、一般（白高濃度）(*1)、または一般ディスタンス(*2)
	モード	White → CMYK、または White → CMYK (v) (*3)
 カット制御 (LEF シリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

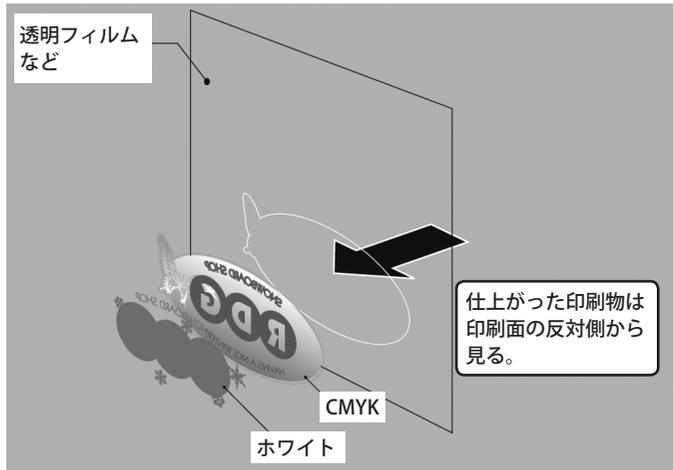
(\*1) 「一般（白高濃度）」について

- 「一般」よりも濃度の高いホワイトが出力可能になります。
- インクタイプが ECO-UV CMYKWW、ECO-UV3 CMYKWW または ECO-UV4 CMYKWW（ECO-UV/ECO-UV3/ECO-UV4 インクのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各インクカートリッジに加え、ホワイトインクカートリッジを 2 本使用）の場合にのみ選択できます。
- ECO-UVS インクをご使用の場合は選択できません。

(\*2) LEF-20、LEF-300 をお使いの場合、印刷面に起伏があるメディアに印刷するときは、用紙の種類を「一般ディスタンス」にします。

(\*3) 印刷面側から仕上がりを見せる場合でも CMYK インクを下地にしたい場合は「CMYK → White」または「CMYK → White (v)」を選択してください。

仕上りを印刷面の反対側から見せたい場合（CMYK インクを下地にする）



※ ホワイトインクと CMYK インクは同時に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

アイコン	設定項目	設定
 レイアウト	画像を反転する	チェックを付ける
 品質	用紙の種類	一般、一般（白高濃度）(*1)、または一般ディスタンス(*2)
	モード	CMYK → White、または CMYK → White (v) (*4)
 カット制御 (LEF シリーズでは使用 しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

(\*1) 「一般（白高濃度）」について

- 「一般」よりも濃度の高いホワイトが出力可能になります。
- インクタイプが ECO-UV CMYKWW、ECO-UV3 CMYKWW または ECO-UV4 CMYKWW（ECO-UV/ECO-UV3/ECO-UV4 インクのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各インクカートリッジに加え、ホワイトインクカートリッジを 2 本使用）の場合にのみ選択できます。
- ECO-UVS インクをご使用の場合は選択できません。

(\*2) LEF-20、LEF-300 をお使いの場合、印刷面に起伏があるメディアに印刷するときは、用紙の種類を「一般ディスタンス」にします。

(\*3) 印刷面の反対側から仕上がりを見せる場合でもホワイトインクを下地にしたい場合は、「White → CMYK」または「White → CMYK (v)」を選択してください。



① 「ジョブリスト」の「A入力」タブをクリックする。

② P.13「印刷データを作成する」で作成した印刷ジョブをA入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分は、半透明のマゼンタの斜線で表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順③のモードの設定を正しいものに選択し直してください。

③  をクリックする。  
印刷が開始されます。

## ホワイトインクのみを使って印刷する

### 手順

- ① VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P.9「第2章 準備編」）が完了していることを確認する。
- ② 印刷データを用意する。  
Adobe Illustrator などのアプリケーションでホワイトのみを印刷するためのデータを作成してください。データを作成するときは、「RDG\_WHITE」での色指定を忘れずに行ってください。  
☞ P.13「印刷データを作成する」
- ③ 「A 入力のプロパティ」の設定を行う。  
 をダブルクリックし、表示された「A 入力のプロパティ」画面で次のように印刷の基本設定を行ってください。

アイコン	設定項目	設定
 レイアウト	画像を反転する	(*1)
 品質	用紙の種類	一般、一般（白高濃度）(*2)、または一般ディスタンス(*3)
	モード	White、または White (v)
 カット制御 (LEF シリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

(\*1)

印刷面側から仕上がりを見せる場合：チェックを外す

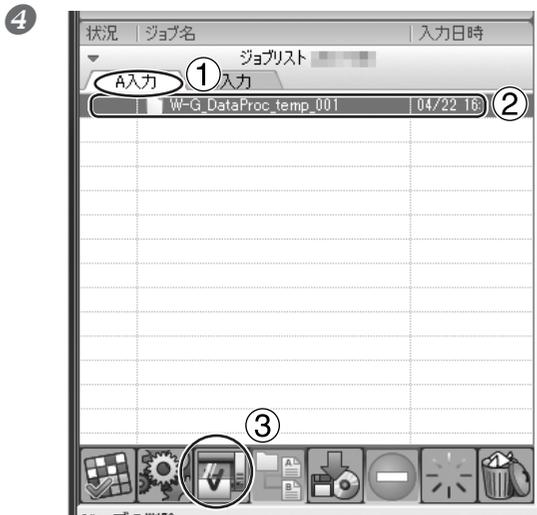
印刷面の反対側から仕上がりを見せる場合：チェックを付ける

(\*2) 「一般（白高濃度）」について

- 「一般」よりも濃度の高いホワイトが出力可能になります。
- インクタイプが ECO-UV CMYKWW、ECO-UV3 CMYKWW または ECO-UV4 CMYKWW（ECO-UV/ECO-UV3/ECO-UV4 インクのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各インクカートリッジに加え、ホワイトインクカートリッジを2本使用）の場合にのみ選択できます。
- ECO-UVS インクをご使用の場合は選択できません。

(\*3) LEF-20、LEF-300 をお使いの場合、印刷面に起伏があるメディアに印刷するときは、用紙の種類を「一般ディスタンス」にします。

設定が済んだら [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。



① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。

② P.13「印刷データを作成する」で作成した印刷ジョブを A 入力のジョブリストにドラッグ & ドロップする。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分は、半透明のマゼンタの斜線で表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順 ③ のモードの設定を正しいものに選択し直してください。

③  をクリックする。  
印刷が開始されます。

## CMYK インクのみを使って印刷する

### 手順

- 1 VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P.9「第2章 準備編」）が完了していることを確認する。
- 2 印刷データを用意する。  
Adobe Illustrator などのアプリケーションで CMYK のみを印刷するためのデータを作成してください。
- 3 「A 入力のプロパティ」の設定を行う。  
 をダブルクリックし、表示された「A 入力のプロパティ」画面で次のように印刷の基本設定を行ってください。

アイコン	設定項目	設定
 レイアウト	画像を反転する	(*1)
 品質	用紙の種類	一般、一般（白高濃度）(*2)、または一般ディスタンス(*3)
	モード	CMYK、または CMYK (v)
 カット制御 (LEF シリーズでは 使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

(\*1)

印刷面側から仕上がりを見せる場合：チェックを外す

印刷面の反対側から仕上がりを見せる場合：チェックを付ける

(\*2) 「一般（白高濃度）」について

- ▶ 「一般」「一般（白高濃度）」どちらを選んでも出力結果は同じになります。
- ▶ インクタイプが ECO-UV CMYKWW、ECO-UV3 CMYKWW または ECO-UV4 CMYKWW（ECO-UV/ECO-UV3/ECO-UV4 インクのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各インクカートリッジに加え、ホワイトインクカートリッジを2本使用）の場合にのみ選択できます。
- ▶ ECO-UVS インクをご使用の場合は選択できません。

(\*3) LEF-20、LEF-300 をお使いの場合、印刷面に起伏があるメディアに印刷するときは、用紙の種類を「一般ディスタンス」にします。

設定が済んだら [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。



① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。

② P.13「印刷データを作成する」で作成した印刷ジョブを A 入力のジョブリストにドラッグ & ドロップする。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。

③  をクリックする。

印刷が開始されます。

## 3-3 グロスインクを使って印刷する

### 光沢仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄ グロス）

出力物を光沢仕上げにする印刷方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

#### 手順

- 1 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたはCMYKによる印刷を行う。

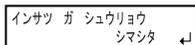
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

P.22「3-2 ホワイト／CMYKインクを使って印刷する」のホワイトまたはCMYKによる印刷の各手順にしたがって印刷を行います。このとき、それぞれの設定に加え「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておきます。

アイコン	設定項目	設定
 カット制御	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを付ける

#### LEF シリーズの場合のみ

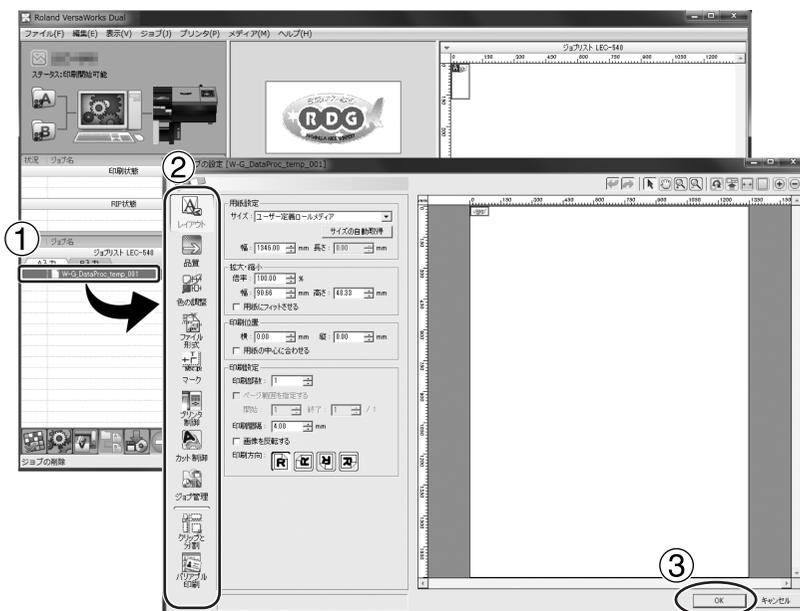
印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで **ENTER** を押し、手順 2 に進んでください。



② ① 印刷ジョブをダブルクリックする。

② 表示された「ジョブの設定」画面で印刷の基本設定を行う。

画面左側のアイコンをクリックすると右側の表示が切り替わります。次の表を見て、各項目の設定を行ってください。



アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	特殊仕上げ
	モード	GlossVarnish (v)
 カット制御 (LEFシリーズでは使用 しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

③ 設定が済んだら [OK] をクリックする。

「ジョブの設定」画面を閉じます。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分は半透明のマゼンタの斜線で表示され、「RDG\_GLOSS」を使用している部分は半透明のシアンで表示されます。「RDG\_WHITE」と「RDG\_GLOSS」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順②-②のモードの設定を正しいものを選択し直してください。

③  をクリックする。

印刷ジョブのうち、グロスインクの部分のみが印刷されます。

## マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄ グロス）

出力物をマット仕上げにする印刷方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

### 手順

- 1 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたはCMYKによる印刷を行う。

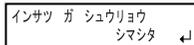
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

P.22「3-2 ホワイト／CMYKインクを使って印刷する」のホワイトまたはCMYKによる印刷の各手順にしたがって印刷を行います。このとき、それぞれの設定に加え「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておきます。

アイコン	設定項目	設定
 カット制御	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを付ける

### LEF シリーズの場合のみ

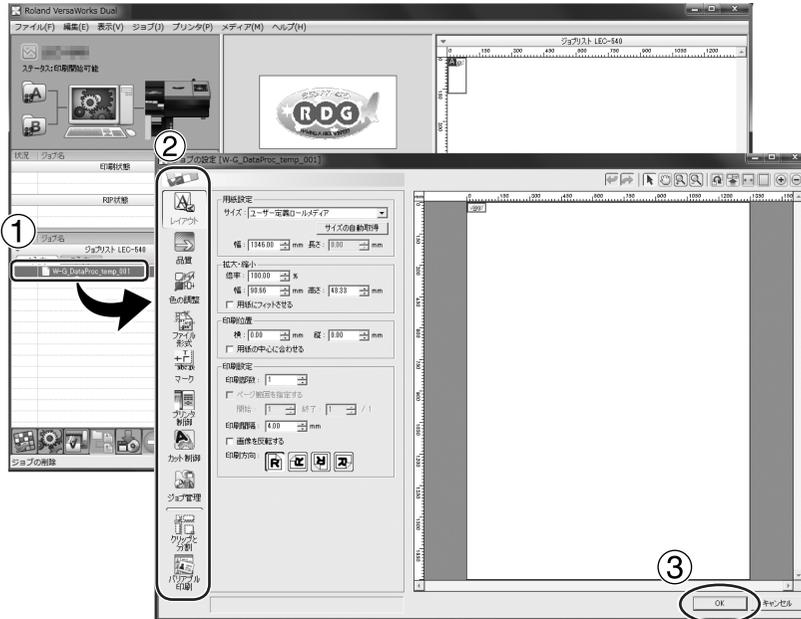
印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで **ENTER** を押し、手順 **2** に進んでください。



② ① 印刷ジョブをダブルクリックする。

② 表示された「ジョブの設定」画面で印刷の基本設定を行う。

画面左側のアイコンをクリックすると右側の表示が切り替わります。次の表を見て、各項目の設定を行ってください。



アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	特殊仕上げ
	モード	MatteVarnish (v)
 カット制御 (LEFシリーズでは使用 しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

③ 設定が済んだら〔OK〕をクリックする。

「ジョブの設定」画面を閉じます。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分は半透明のマゼンタの斜線で表示され、「RDG\_GLOSS」を使用している部分は半透明のシアンで表示されます。「RDG\_WHITE」と「RDG\_GLOSS」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順②-②のモードの設定を正しいものを選択し直してください。

③  をクリックする。

印刷ジョブのうち、グロスインクの部分のみが印刷されます。

## マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）

CMYK とグロスインクを一度に印刷する方法を説明します。CMYK とグロスインクを一度に印刷できるのは、マット仕上げ印刷のみです。

### 手順

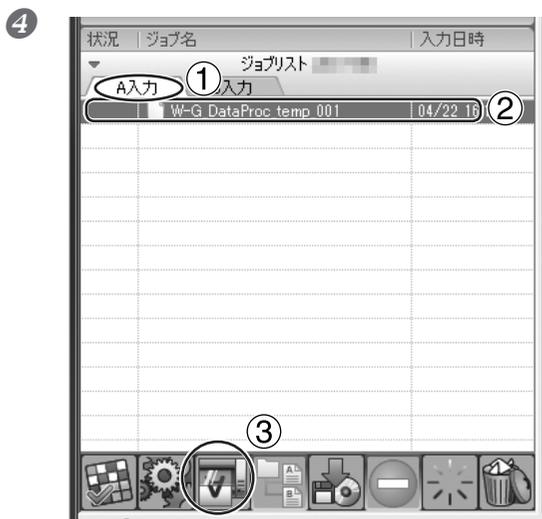
- ① VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P.9「第2章 準備編」）が完了していることを確認する。
- ② 印刷データを用意する。  
 Adobe Illustrator などのアプリケーションでグロスインクと CMYK インクを使ったデータを作成してください。データを作成するときは、「RDG\_GLOSS」での色指定を忘れずに行ってください。  
 ☞ P.13「印刷データを作成する」
- ③ 「A 入力のプロパティ」の設定を行う。  
 をダブルクリックし、表示された「A 入力のプロパティ」画面で次のように印刷の基本設定を行ってください。

アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	一般（特殊仕上げ付）、または一般ディスタンス（特殊仕上げ付）(*1)
	モード	CMYK → MatteVarnish、または CMYK → MatteVarnish (v)
 カット制御 (LEF シリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

(\*1)

LEF-20、LEF-300 をお使いの場合、印刷面に起伏があるメディアに印刷するときは、用紙の種類を「一般ディスタンス」にします。

設定が済んだら [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。



① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。

② P.13「印刷データを作成する」で作成した印刷ジョブを A 入力のジョブリストにドラッグ & ドロップする。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_GLOSS」を使用している部分は、半透明のシアンで斜線が表示されます。「RDG\_GLOSS」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順 ③ のモードの設定を正しいものを選択し直してください。

③  をクリックする。  
印刷が開始されます。

## エンボス仕上げ印刷（ホワイト／CMYK ⇄ グロス）

グロスインクを塗り重ねて印刷面を盛り上げてエンボス仕上げにする印刷方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻しグロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

グロスインクを塗り重ねる回数は、VersaWorks で設定します。この設定回数分マット調で塗り重ねて印刷し、さらにもう一度グロスインクを塗り重ねて表面を光沢仕上げにします。つまり、グロスインクを塗り重ねる回数は「VersaWorks での設定回数分 +1 回」となります。

### 手順

- 1 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたは CMYK による印刷を行う。

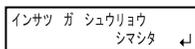
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

P.22「3-2 ホワイト／CMYK インクを使って印刷する」のホワイトまたは CMYK による印刷の各手順にしたがって印刷を行います。このとき、それぞれの設定に加え「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておきます。

アイコン	設定項目	設定
 カット制御	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを付ける

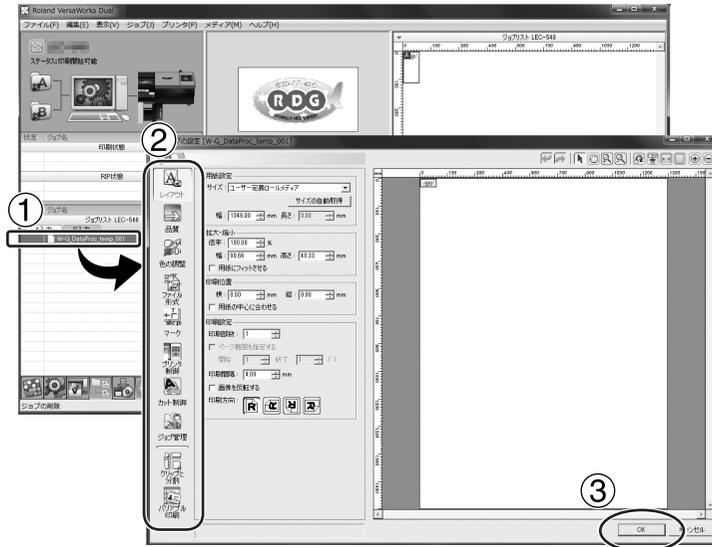
#### LEF シリーズの場合のみ

印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで **ENTER** を押し、手順 2 に進んでください。



- 2 ① 印刷ジョブをダブルクリックする。  
② 表示された「ジョブの設定」画面で印刷の基本設定を行う。

画面左側のアイコンをクリックすると右側の表示が切り替わります。次の表を見て、各項目の設定を行ってください。



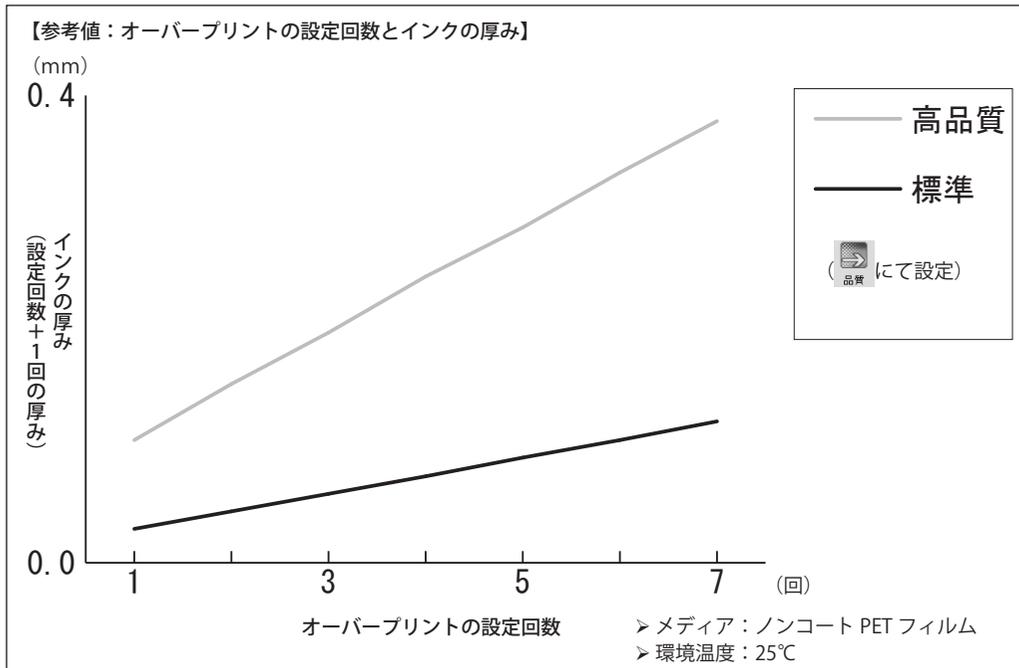
アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	特殊仕上げ
	モード	Embossing (v)
 プリンタ制御	詳細設定を変更する	チェックを付ける
	オーバープリント *	< LEC-330 / 540、LEJ-640 の場合 > 1 ~ 7 回 < LEF-20 の場合 > 1 ~ 10 回 < LEF-300 の場合 > 1 ~ 15 回
 カット制御 (LEF シリーズでは使用 しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

\* オーバープリントの設定回数とインク厚みについて  
以下のグラフを参考にしてください。

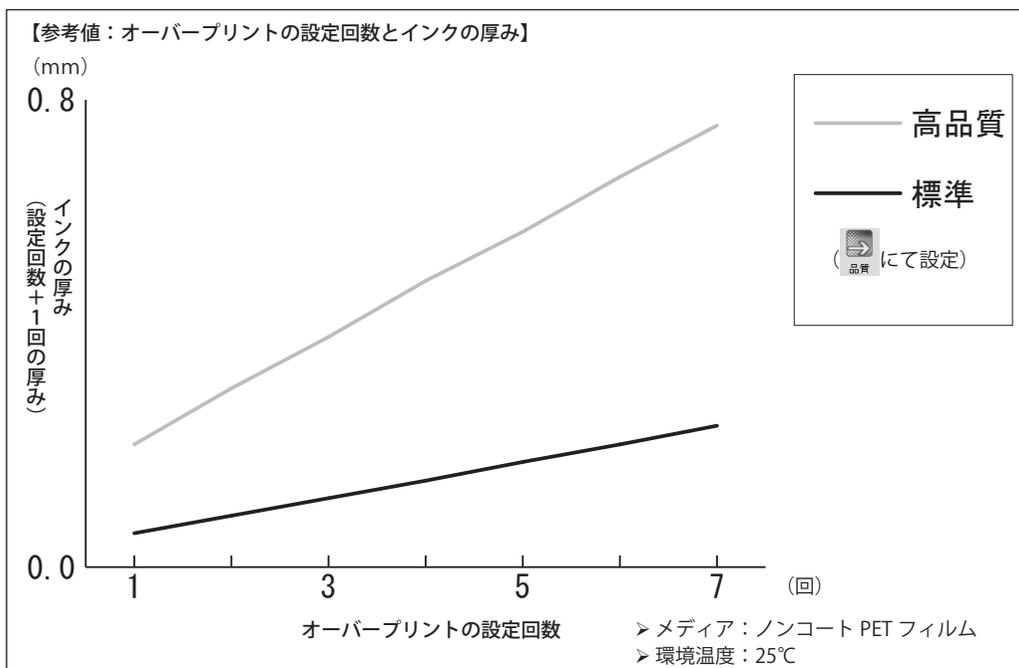
- エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数+1回」印刷します。
- オーバープリント設定回数によるインクの厚みは、使用するメディアの種類や印刷環境によって異なります。
- 印刷面をこすったり、メディア詰まりを起こしたりした場合は、オーバープリント回数、メディア種類、ヘッド位置を見直してください。ただし、ヘッド位置を高くすると印刷結果が粗くなることがありますのでご注意ください。

### 3-3 グロスインクを使って印刷する

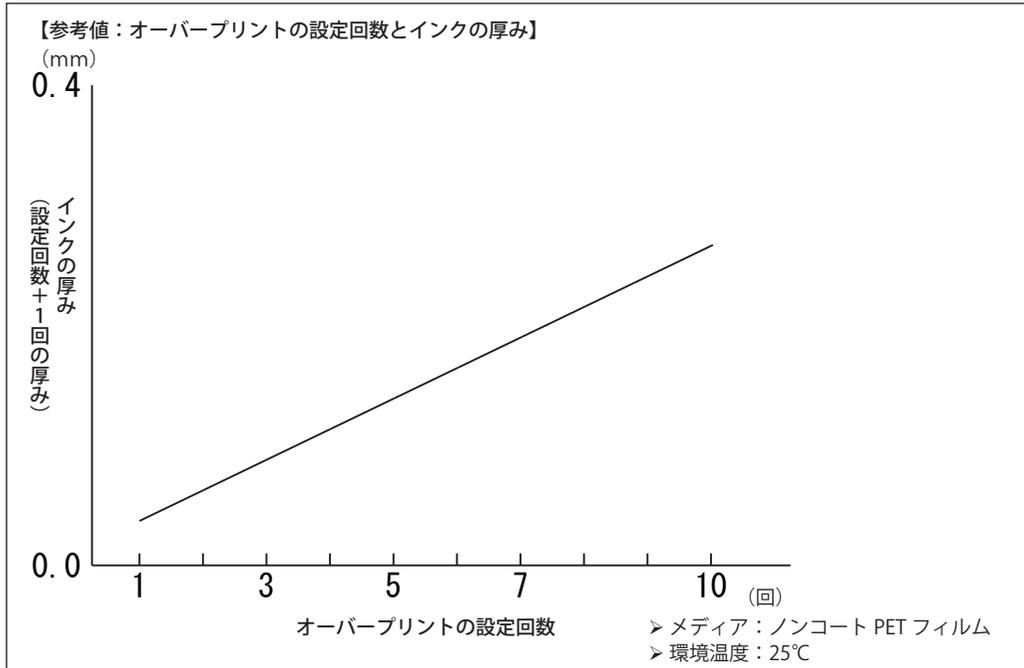
#### LEC-330/540、LEJ-640の場合(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、ホワイト (CMYKGIW))



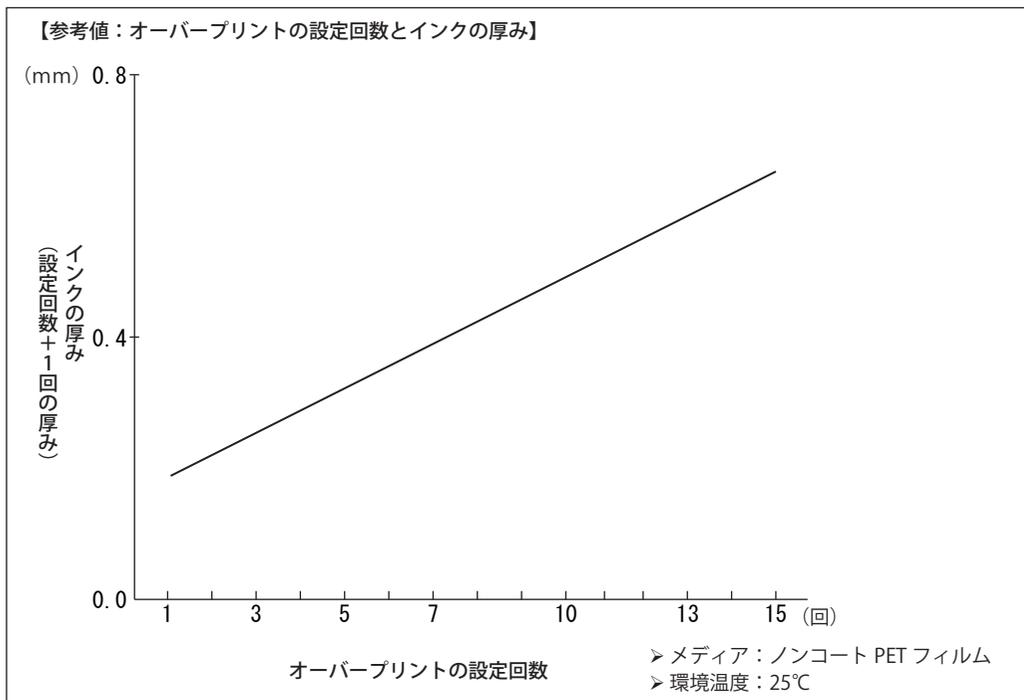
#### LEC-330/540、LEJ-640の場合(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、グロス (CMYKGI))



## LEF-20 の場合



## LEF-300 の場合



### 3-3 グロスインクを使って印刷する

---

③ 設定が済んだら [OK] をクリックする。

「ジョブの設定」画面を閉じます。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_WHITE」を使用している部分は半透明のマゼンタの斜線で表示され、「RDG\_GLOSS」を使用している部分は半透明のシアンの斜線で表示されます。「RDG\_WHITE」と「RDG\_GLOSS」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順②-②のモードの設定を正しいものを選択し直してください。

③  をクリックする。

印刷ジョブのうち、グロスインクの部分のみが印刷されます。

## グロスインクのみを使って印刷する

光沢仕上げ、マット仕上げ、エンボス仕上げはすべてグロスインクのみを使って印刷することもできます。

### 手順

- ① VersaWorks の準備、プリンタの準備 (☞ P.9「第2章 準備編」) が完了していることを確認する。
- ② 印刷データを用意する。  
Adobe Illustrator などのアプリケーションでグロスインクのみで印刷するためのデータを作成してください。データを作成するときは、「RDG\_GLOSS」での色指定を忘れずに行ってください。  
☞ P.13「印刷データを作成する」
- ③ 「A 入力のプロパティ」の設定を行う。  
 をダブルクリックし、表示された「A 入力のプロパティ」画面で次のように印刷の基本設定を行ってください。

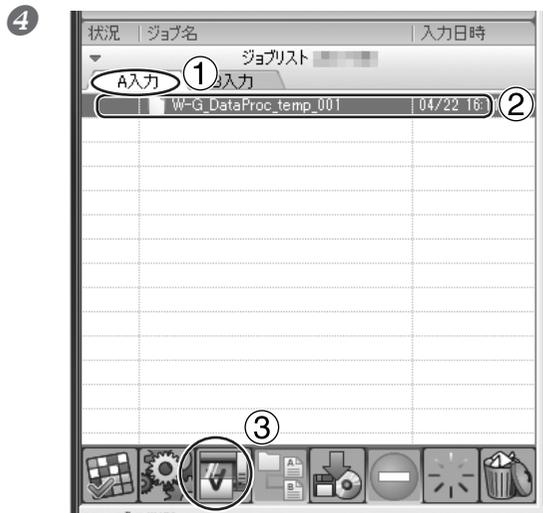
アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	特殊仕上げ
	モード	光沢仕上げの場合：GlossVarnish (v) マット仕上げの場合：MatteVarnish (v) エンボス仕上げの場合：Embossing (v)
 プリンタ制御  <エンボス仕上げのみ>	詳細設定を変更する	チェックを付ける
	オーバープリント*	< LEC-330 / 540、LEJ-640 の場合 > 1 ~ 7 回 < LEF-20 の場合 > 1 ~ 10 回 < LEF-300 の場合 > 1 ~ 15 回
 カット制御  (LEF シリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

\* オーバープリントの設定回数とインク厚みについて

P.38 ~ 39 に参考値によるグラフを掲載してあります。参照してください。

- エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数 + 1 回」印刷します。
- オーバープリント設定回数によるインクの厚みは、使用するメディアの種類や印刷環境によって異なります。
- 印刷面をこすったり、メディア詰まりを起こしたりした場合は、オーバープリント回数、メディア種類、ヘッド位置を見直してください。ただし、ヘッド位置を高くすると印刷結果が粗くなることがありますのでご注意ください。

設定が済んだら [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。



① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。

② P.13「印刷データを作成する」で作成した印刷ジョブを A 入力のジョブリストにドラッグ & ドロップする。

ファイルの内容とメディア上でのレイアウトが、プレビューウィンドウとレイアウトウィンドウにそれぞれ表示されます。「RDG\_GLOSS」を使用している部分は、半透明のシアンで斜線で表示されます。「RDG\_GLOSS」を使用している部分が斜線で表示されない場合は、モードの設定に誤りがあります。手順 ③ のモードの設定を正しいものを選択し直してください。

③  をクリックする。  
印刷が開始されます。

# 第4章

## 詳細編

---

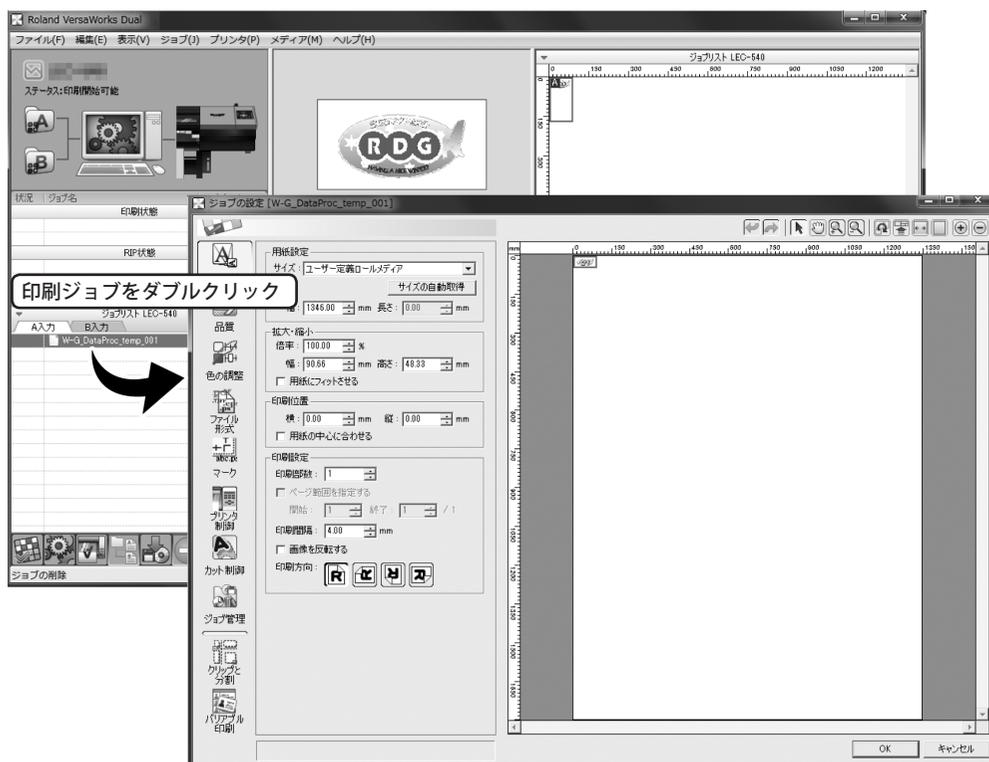
4-1	より進んだ印刷設定 .....	44
	ジョブごとに印刷設定を行う .....	44
4-2	より進んだ印刷データの作成 .....	45
	ホワイト／CMYK⇔グロス：設定変更をなるべく少なくしたい .....	45
	特色版を生成する .....	50
4-3	ステッカーを作る（印刷後にカットイング） .....	51
	ステッカー製作の概要 .....	51
	CMYKまたはホワイトインクを使った印刷でステッカーを作る .....	51
	グロスインクを使った印刷でステッカーを作る .....	51
4-4	印刷データを合成する .....	52
	CMYKのみの印刷データとホワイト（またはグロス）のみの印刷データを合成する .....	52
4-5	テクスチャ印刷を行う .....	57
	テクスチャ印刷とは .....	57
	テクスチャチャートを印刷する .....	57
	テクスチャ印刷データを作成する .....	59
	テクスチャ印刷を行う .....	65
4-6	特色版の位置とサイズを調整する .....	66
	位置補正をする .....	66
	サイズ補正をする .....	68

# 4-1 より進んだ印刷設定

## ジョブごとに印刷設定を行う

### 操作方法

印刷を開始する前に印刷ジョブをダブルクリックする。  
「ジョブの設定」画面が開きます。この画面でプリンタの動作設定や色の調整など、ジョブ特有の設定を行います。



### 解説

多くのジョブを連続して出力するとき、個別のジョブごとに印刷設定が異なる場合は面倒なものです。そこで、印刷を開始する前にジョブごとの設定を「ジョブの設定」画面で行います。つまり、「入力のプロパティ」で共通の基本設定を行い、ジョブごとの設定は「ジョブの設定」で行うという考え方です。「ジョブの設定」では既に「入力のプロパティ」で行われている設定が反映されていますので、色の調整などのジョブ特有の設定を行うことができます。

## 4-2 より進んだ印刷データの作成

### ホワイト / CMYK ⇔ グロス : 設定変更をなるべく少なくしたい

ここでの説明では、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

#### 1. CMYK またはホワイトの印刷データと、グロスの印刷データを別々のレイヤーで作成する

- 1 スポットカラー（特色）「RDG\_WHITE」と「RDG\_GLOSS」を用意する。

☞ P.13「印刷データを作成する」の手順 1.

- 2 CMYK とホワイトを使用する部分のイラストを作成する。

イラストの描画を行う際は、以下の点にご注意ください。

➢ CMYK モードで描画してください。

➢ 描画の時点で複数のレイヤーを使用した場合は、以降の操作に進む前に、すべての描画を単一のレイヤー上（ここでは「レイヤー 1」とします）に移してください。

- 3



- ① レイヤーパレットのメニューで「レイヤー 1 のオプション」を選択する。

レイヤーオプション画面が表示されます。

※レイヤーパレットは、メニューから「ウィンドウ」→「レイヤー」を選択すると表示されます。

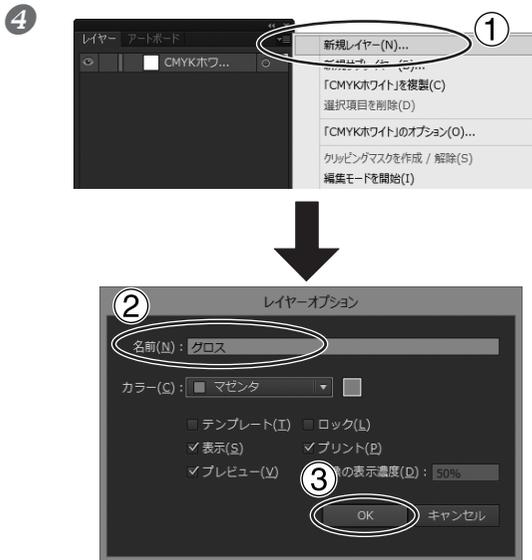


- ② レイヤーに名前を付ける。

ここでは「CMYK ホワイト」にします。

- ③ [OK] をクリックする。

次ページに続く



① レイヤーパレットのメニューで「新規レイヤー」を選択する。

レイヤーオプション画面が表示されます。  
※レイヤーパレットは、メニューから「ウィンドウ」→「レイヤー」を選択すると表示されます。

② グロス用のレイヤーに名前を付ける。  
ここでは「グロス」にします。

③ [OK] をクリックする。

- ⑤ 「グロス」レイヤーをクリックする。
- ⑥ グロスを使用する部分のイラストを作成する。
- ⑦ ホワイトを使用する部分の色に「RDG\_WHITE」を指定する。
- ⑧ グロスを使用する部分の色に「RDG\_GLOSS」を指定する。

## 2. CMYK またはホワイトの印刷データと、グロスの印刷データを別々に保存する



レイヤーパレットで「CMYK ホワイト」のみの表示にする。

- ② PS ファイルを作成する。  
「CMYK ホワイト」のみの PS ファイルが作成されます。  
ここではファイル名を「label\_cmyk-white.ps」にします。  
⇨ P.16「PS ファイルを作成する。」

3



レイヤーパレットで「グロス」のみの表示にする。

4

PS ファイルを作成する。

「グロス」のみの PS ファイルが作成されます。

ここではファイル名を「label\_gloss.ps」にします。

☞ P.16「PS ファイルを作成する。」

### 3. 「A 入力のプロパティ」と「B 入力のプロパティ」で印刷の基本設定を行う

1



をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

2

「A 入力のプロパティ」画面で CMYK またはホワイトを印刷するための基本設定を行う。

次の表を見て、各項目の設定を行ってください。

アイコン	設定項目	設定
	用紙の種類	一般、一般（白高濃度）、または一般ディスタンス
	モード	P.22「3-2 ホワイト／CMYK インクを使って印刷する」を参照して、目的に合わせてモードを選択してください。
 (LEF シリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを付ける

3



「B」をダブルクリックする。  
「B 入力のプロパティ」画面が表示されます。

4 「B 入力のプロパティ」でグロスを印刷するための基本設定を行う。

次の表を見て、各項目の設定を行ってください。

アイコン	設定項目	設定
 品質	用紙の種類	特殊仕上げ
	モード	P.30「3-3 グロスインクを使って印刷する」を参照して、目的に合わせてモードを選択してください。
 プリンタ制御 ＜エンボス仕上げのみ＞	詳細設定を変更する	チェックを付ける
	オーバープリント*	< LEC-330 / 540、LEJ-640 の場合 > 1～7回 < LEF-20 の場合 > 1～10回 < LEF-300 の場合 > 1～15回
 カット制御 (LEFシリーズでは使用しません。)	動作モード	プリントのみ
	印刷後に用紙を引き戻す	チェックを外す

\* オーバープリントの設定回数とインク厚みについて

P.38～39に参考値によるグラフを掲載してあります。参照してください。

- ▶ エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数+1回」印刷します。
- ▶ オーバープリント設定回数によるインクの厚みは、使用するメディアの種類や印刷環境によって異なります。
- ▶ 印刷面をこすったり、メディア詰まりを起こしたりした場合は、オーバープリント回数、メディア種類、ヘッド位置を見直してください。ただし、ヘッド位置を高くすると印刷結果が粗くなることがありますのでご注意ください。

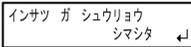
## 4. CMYK またはホワイトの印刷を行う

- ① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。
- ② 「label\_cmyk-white.ps」を A 入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。
- ③  をクリックする。

CMYK またはホワイトの印刷が開始されます。出力後、メディアが引戻されたらグロスの印刷を行います。

### LEF シリーズの場合のみ

印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで **ENTER** を押し、手順 5. に進んでください。



## 5. グロスの印刷を行う

- ① 「ジョブリスト」の「B 入力」タブをクリックする。
- ② 「label\_gloss.ps」を B 入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。
- ③  をクリックする。  
グロスの印刷が開始されます。

### 解説

ホワイトインクまたは CMYK インクによる印刷を行った後にグロスインクを塗り重ねる場合、印刷データの作成方法と入力フォルダの設定を工夫することで印刷時の設定変更をできるだけ少なくすることができます。この方法では、はじめに印刷データを「ホワイトまたは CMYK」用と「グロス」用で分けて作成／保存し、A と B の入力フォルダも「ホワイトまたは CMYK」用と「グロス」用として使い分けます。印刷前の準備に手間はかかりますが、ジョブごとに印刷設定を変えたくない場合には効果的な方法です。

## 特色版を生成する

VersaWorks 上で特色版（ホワイト / グロス）を生成できます。Illustrator 上で特色版を設定したい場合は、P.13「印刷データ作成の考え方」を参考にしてください。

※ お使いの機種によっては表示されない場合があります。

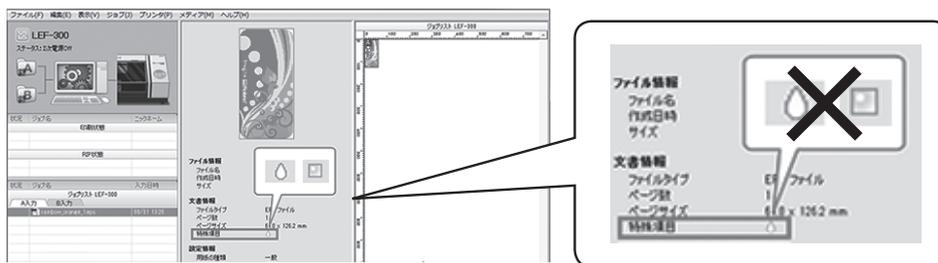
### 1. 特色版生成が可能なデータかどうかを確認する

- 1 「ジョブリスト」から特色版を生成したいジョブを選択し、ダブルクリックする。

[ジョブの設定] 画面が表示されます。

⇨ P.44「ジョブごとに印刷設定を行う」

- 2 [特殊項目] に   が表示されていないことを確認する。



下記のいずれかに該当するデータの場合、特色版生成は設定できません

- [RDG\_WHITE]、[RDG\_Gloss]、または [RDG\_Texture] が使用されているベクター形式のデータ
- ラスター形式のデータ
- バリアブルデータ印刷用の差し替えデータ

### 2. 特色版生成機能を設定する

- 1  をクリックする。  
[品質設定] の [モード] で、使用する特色インクモードを選択します。

⇨ P.20「印刷モードについて」

- 2  をクリックする。

- 3 [特色版を生成する] をオンにする。

[生成パターン] を選択します。

元画像	印字エリア	印字エリア外	画像全体
			
	オブジェクトの下に版を生成します。	オブジェクトのない箇所に版を生成します。	ジョブサイズ全体に版を生成します。

- 4 「OK」をクリックする。

## 4-3 ステッカーを作る（印刷後にカッティング）

※ この機能は LEC-330 / 540 のみに適用されます。

### ステッカー製作の概要

印刷に使う画像データに「カッティング線」を描画しておくことで、印刷の完了後にカッティングを行うことができます。糊付きの透明フィルムを使ってステッカーを作りたい場合などに便利です。カッティング線の描画方法については、「VersaWorks Dual クイックスタートガイド」（または「VersaWorks クイックスタートガイド」）をご覧ください。

なお、印刷面にカッティングを行う場合はあらかじめカッティングテストを行うことをお勧めします。カッティングテストの方法については、お使いのプリンタの「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

### CMYK またはホワイトインクを使った印刷でステッカーを作る

「3-2 ホワイト／CMYK インクを使って印刷する」の各操作に対して次の点を変更します。

- 印刷データにカッティング線を加えておく。
- 「A 入力のプロパティ」画面で「カット制御」を次のように設定し印刷を行う。

アイコン	設定項目	設定
 カット制御	動作モード	プリント&カット

これにより印刷の終了後、自動的にカッティングが行われます。

### グロスインクを使った印刷でステッカーを作る

「3-3 グロスインクを使って印刷する」の各操作に対して次の点を変更します。

- 印刷データにカッティング線を加えておく。
- グロスインクを印刷するときの「A 入力のプロパティ」画面（または「ジョブの設定」画面）で「カット制御」を次のように設定し印刷を行う。

アイコン	設定項目	設定
 カット制御	動作モード	プリント&カット

これによりすべての印刷の終了後、自動的にカッティングが行われます。

## 4-4 印刷データを合成する

### CMYK のみの印刷データとホワイト（またはグロス）のみの印刷データを合成する

VersaWorks には、CMYK のみの印刷データとホワイト（またはグロス）のみの印刷データを合成する機能があります。この機能を使用するには、以下のことが条件となります。

- ▶ 合成できる印刷データの組合せは、CMYK のみの印刷データ 1 個とホワイト（またはグロス）のみの印刷データ 1 個。
- ▶ 印刷データは TIFF ファイルにする。また、ホワイト（またはグロス）のみの印刷データは、TIFF 保存時に「TIFF オプション」の「カラーモード」を「グレースケール」にする。

ここでの説明では、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。

#### 手順

- ➊ VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P.9「第 2 章 準備編」）が完了していることを確認する。
- ➋ CMYK のみの印刷データとホワイト（またはグロス）のみの印刷データを作成する。  
☞ P.45「ホワイト / CMYK ⇄ グロス：設定変更をなるべく少なくしたい」の手順 1。

次ページに続く

3



① レイヤーパレットで「CMYK」のみの表示にする。

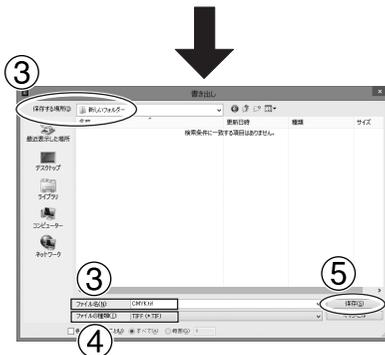
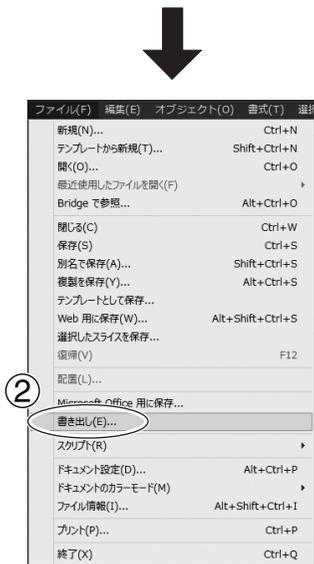
② メニューから「ファイル」→「書き出し」を選択する。

③ 保存先とファイル名を指定する。

④ 「ファイルの種類」を「TIFF (\*.TIF)」にする。

⑤ [保存] をクリックする。

⑥ TIFF オプションの「カラーモード」を「CMYK」にする。



## 4-4 印刷データを合成する

4



① レイヤーパレットで「ホワイト（またはグロス）」のみの表示にする。

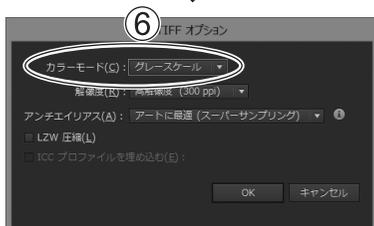
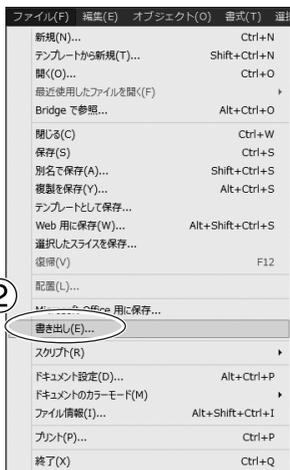
② メニューから「ファイル」→「書き出し」を選択する。

③ 保存先とファイル名を指定する。

④ 「ファイルの種類」を「TIFF (\*.TIF)」にする。

⑤ 「保存」をクリックする。

⑥ TIFF オプションの「カラーモード」を「グレースケール」にする。



5



 をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

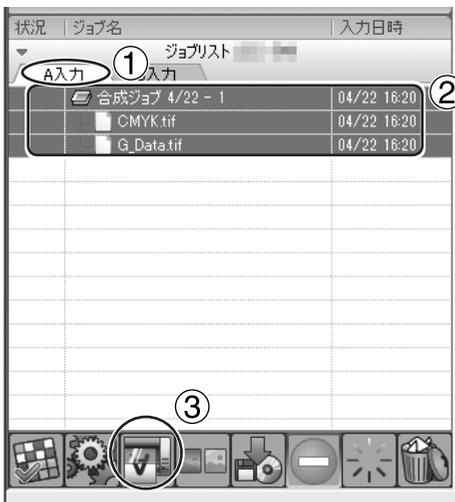
6 「A 入力のプロパティ」で選択する印刷方法の基本設定を行う。

⇨ P.19「第3章 印刷編」

以下の設定も追加してください。

アイコン	設定項目	設定
 ファイル形式	構成名	<p>&lt;ホワイトのみの印刷データを合成する場合&gt; Ex1=RDG_WHITE</p> <p>&lt;グロスみの印刷データを合成する場合&gt; Ex1=RDG_GLOSS</p>
 ジョブ管理	ジョブの個数	2
	合成する	チェックを付ける

7



① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。

② 手順 ③、④ で作成した印刷ジョブを A 入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。  
自動で合成します。

③  をクリックする。

印刷が開始されます。

### 解説

---

お使いのプリンタは、軟包装やパッケージなどの校正刷り用途で利用出来ます。その場合、印刷機との色あわせをするために市販ソフトウェア RIP が使われることがあります。市販ソフトウェア RIP によっては、色合わせしたものは TIFF ファイルに保存されます。また、CMYK とホワイト（またはグロス）が別々に保存されます。

VersaWorks の合成機能を使えば、CMYK の TIFF ファイルとホワイト（またはグロス）の TIFF ファイルを 1 つの印刷ジョブに出来ます。これにより CMYK インクとホワイト（またはグロス）インクを一度に印刷できるので、印刷時間を短縮するなどの効果が得られます。\*

\* グロスインクと CMYK インクを一度に印刷できるのは、マット仕上げ印刷のみです。

## 4-5 テクスチャ印刷を行う

### テクスチャ印刷とは

テクスチャ印刷とは、グロスインクを使ってテクスチャパターンを表現する印刷方法です。専用ライブラリのテクスチャパターンを使って印刷データを作成して出力します。

#### IMPORTANT!

- ▶ 仕上がりは「マット仕上げ印刷」を推奨します。光沢仕上げ印刷とエンボス仕上げ印刷では細かな表現がしにくくなります。
- ▶ Adobe Illustrator で印刷データを作成する場合、CS 以降のバージョンで作成してください。Adobe Illustrator 10 より前のバージョンで印刷データを作成すると、テクスチャパターンをうまく印刷できないことがあります。

### テクスチャチャートを印刷する

テクスチャチャートとは、テクスチャパターンの印刷見本です。テクスチャチャートを印刷することで、「お使いのプリンタ」と「お使いのメディア」で印刷できるテクスチャそのものが表現された「完全なテクスチャチャート」を確認できます（プリンタやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。このテクスチャチャートからパターンを選び、そのパターンを使用して印刷データを作成すれば、意図したパターンをほぼ正確に印刷できます。

VersaWorks は、「Roland Texture System Library」のテクスチャチャートを印刷できます。

※実際に使用するものと同じメディアを使って印刷してください。

#### 手順

① VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P.9「第2章 準備編」）が完了していることを確認する。

②



 をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

※チャート出力は A 入力のみです。

## 4-5 テクスチャ印刷を行う



①  をクリックし、[品質設定] と [カラー設定] を設定する。

※設定方法の詳細は、下記を参照してください。

☞ P.32「マット仕上げ印刷 (ホワイト/CMYK⇒グロス)」、P.34「マット仕上げ印刷 (CMYKとグロスを一度に印刷する)」、P.41「グロスインクのみを使って印刷する」

② [OK] をクリックする。

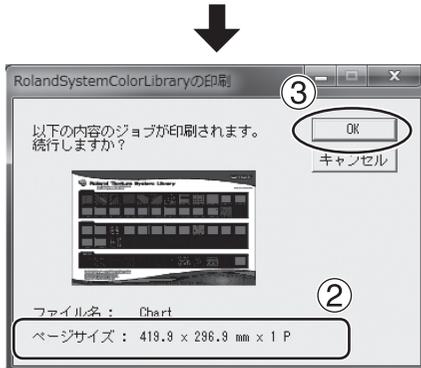
\* テクスチャチャートの印刷では、[品質] の設定項目は [入力のプロパティ] 画面の設定が適用されます。ジョブリストに追加された後では、[ジョブの設定] 画面で設定を変更できませんので、必ず [入力のプロパティ] 画面で [品質] の設定を実行してから以下の操作を実行してください。



① [メディア] - [Chart] をクリックする。

② ページサイズを確認する。

ページサイズに対して、プリンタにセットされているメディアのサイズが不十分な場合は、十分なサイズのメディアと取り替えてください。



③ [OK] をクリックする。

テクスチャチャートの印刷ジョブがジョブリストに追加されます。



 をクリックする。

「Roland Texture System Library」のテクスチャチャートが印刷されます。

※ 印刷したチャートを使って、P.59「テクスチャ印刷データを作成する」の手順 2. でテクスチャパターンを指定します。

## テクスチャ印刷データを作成する

テクスチャ印刷のための印刷データを作成します。ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

### 1. 専用ライブラリを開く。

- ① スウォッチパレットのメニューから [スウォッチライブラリを開く] → [その他のライブラリ] をクリックする。

「ライブラリを選択」画面が表示されます。

※スウォッチパレットは、メニューから [ウィンドウ] → [スウォッチ] を選択すると表示されます。



- ② ①「ローカルディスク (C:)」から、「Roland VersaWorks.ai」を選択する。

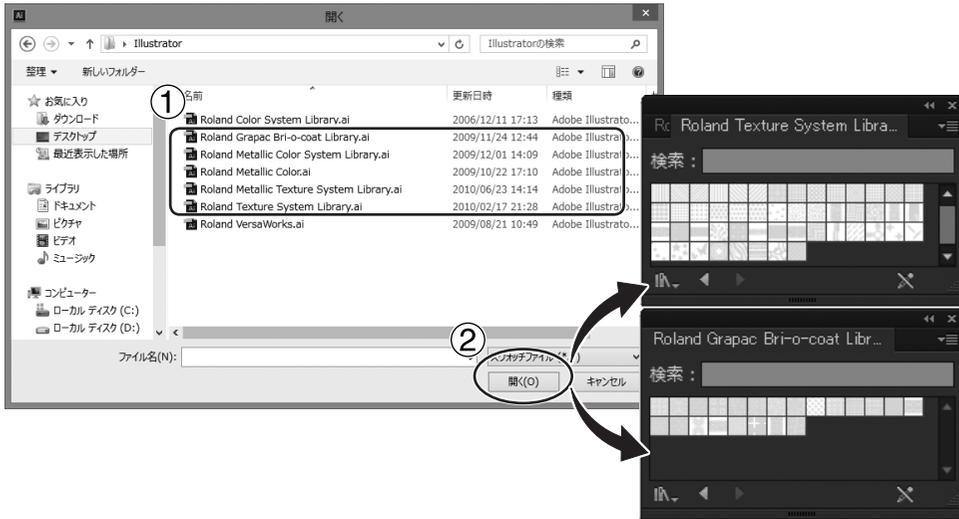
「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」→「Roland VersaWorks Dual」(または「Roland VersaWorks」)→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland Texture System Library.ai」と「Roland Grapac Bri-o-coat Library.ai」を選択する。

お使いのコンピュータの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

Windows バージョン別の「ローカルディスク (C:)」の開き方は、11 ページを参考にしてください。

②〔開く〕をクリックする。

テクスチャパターンが入った専用ライブラリ「Roland Texture System Library」と「Roland Grapac Brio-coat Library」が開きます。



図の画面が表示されたときは「更新」をクリックしてください。

**Tips!**

手順 ② で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustrator のライブラリにそれぞれのスウォッチライブラリを登録できます。登録すると、Adobe Illustrator を起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CS6\Presets¥ (言語の短縮名称) ¥ スウォッチ

※「C」はお使いのコンピュータのローカルディスクです。

※「言語の短縮名称」はお使いの言語によって異なります。

※ お使いの Illustrator のバージョンによっては、「¥Presets¥ (言語の短縮名称) ¥ スウォッチ」が「¥プリセット ¥ スウォッチ」の場合があります。

## 2. イラストを作成し、使用したいテクスチャパターンを指定する。

### ① イラストを作成する。

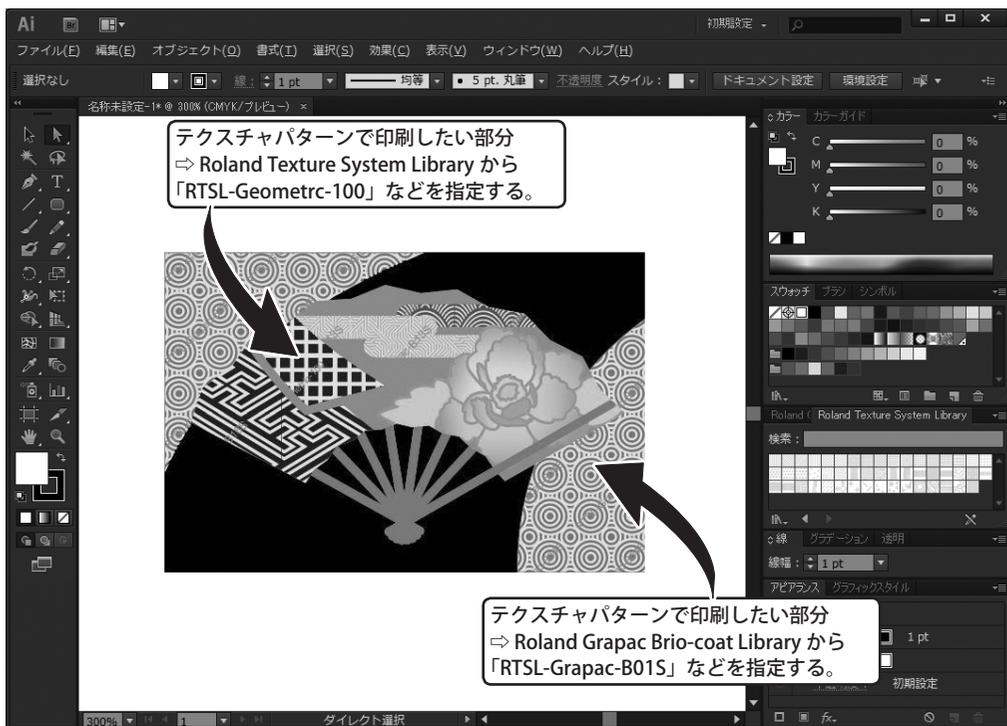
イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。

### ② テクスチャ印刷する場所に、使用したいテクスチャパターンを指定する。

P.57「テクスチャチャートを印刷する」で印刷したチャートでテクスチャパターンを確認して指定します。メディアにより色の違いやわずかなパターンの差があるため、実際に使用するものと同じメディアに印刷したチャートで確認してください。

テクスチャパターンで指定した場所は、グロスインクを使って印刷します。テクスチャ印刷以外でグロスインクを使う場合は、専用スポットカラー「RDG\_GLOSS」を使用します。

☞ P.13「印刷データを作成する」



※ Illustrator 上では、データ上にテクスチャパターン名称が表示されます。また、実際の印刷状態よりも粗く表示されます。

### 3. PS ファイルを作成する。

①



① メニューから「ファイル」→「プリント」をクリックする。

② 「RolandVW」(または、「RolandVWD」)を選択する。

③ [プリンタ] をクリックする。

④ [続行] をクリックする。

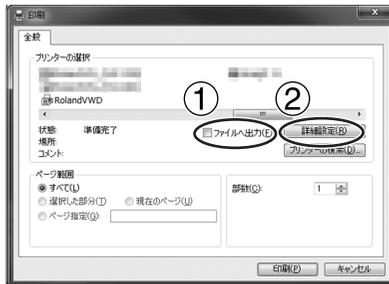


③



次ページに続く

2

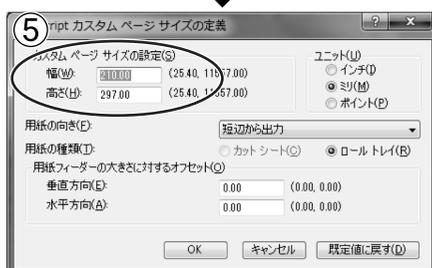


①「ファイルへ出力」にチェックを付ける。

②「詳細設定」をクリックする。

③「レイアウト」タブ内の「詳細設定」をクリックする。

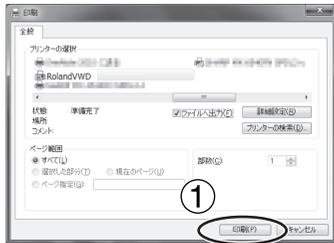
④「用紙サイズ」として「PostScript カスタムページサイズ」を選択する。

⑤「カスタムページサイズの設定」の「幅」と「高さ」の各欄をそれぞれ入力する。  
手順 2. で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。

## 4-5 テクスチャ印刷を行う

- ③ [OK] を3回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」（または「Roland VersaWorks Dual 詳細オプション」）、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。  
「印刷」ダイアログに戻ります。

④



① [印刷] をクリックする。

② [プリント] をクリックする。



⑤



① 保存先とファイル名を指定する。

例:保存先フォルダ「TEX\_print」、ファイル名「tex. ps」

② [保存] をクリックする。

指定したフォルダに PS ファイルが作成されます。

- ⑥ 保存先のフォルダを開いて、ファイルが生成されていることを確認する。

## テクスチャ印刷を行う

### 手順

- ① P.59「テクスチャ印刷データを作成する」で作成した印刷データを用意する。
- ② VersaWorks で「マット仕上げ印刷」の設定をして印刷する。  
⇒ P.32「マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK⇒グロス）」、P.34「マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）」、  
P.41「グロスインクのみを使って印刷する」

### IMPORTANT!

仕上がりは「マット仕上げ印刷」を推奨します。光沢仕上げ印刷とエンボス仕上げ印刷では細かな表現がしにくくなります。

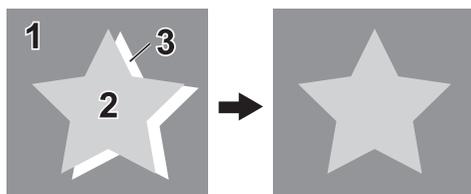
## 4-6 特色版の位置とサイズを調整する

特色版補正機能は、特色印刷の画像拡大縮小や位置の微調整で、特色印刷のずれを補正します。テストパターンを印刷すると、補正値が簡単に確認できます。

※お使いの機種によっては表示されない場合があります。

### 位置補正をする

特色インクの印刷位置を調整します。



- 1 メディア
- 2 プロセスカラー
- 3 特色

#### 手順

- 1 「ジョブリスト」から位置補正をする印刷データを選択し、ダブルクリックする。  
[ジョブの設定] 画面が表示されます。

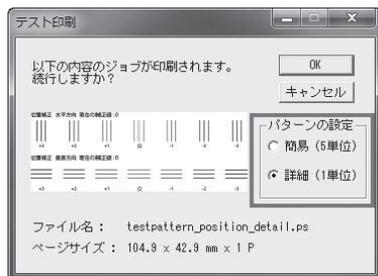
- 2  をクリックする。  
[品質設定] の [モード] で、使用する特色インクモードを選択します。  
⇨P.20「印刷モードについて」

- 3  をクリックする。  
[特色版補正] の [特色] リストボックスから補正する特色インクを選びます。

- 4 [テスト印刷] をクリックする。



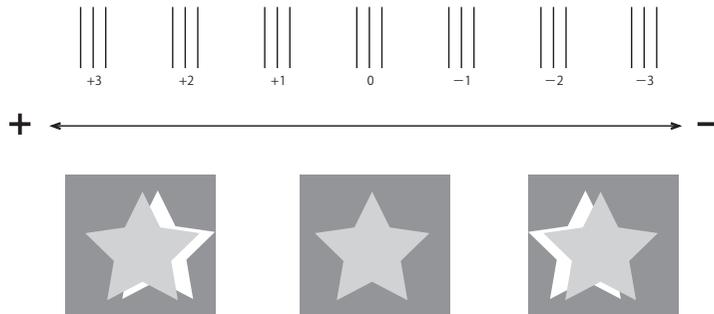
- 5 [パターンの設定] を選択する。



簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。  
詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。

- 6 [OK] をクリックします。  
テストパターンが印刷されます。

### 水平方向の補正位置と印刷位置

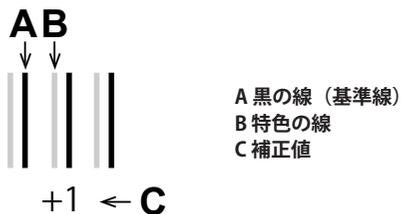


### 垂直方向の補正位置と印刷位置



#### 7 [水平] [垂直] の補正值を入力する。

印刷されたテストパターンから、A (黒の線) と B (特色の線) とのいずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されている C ([水平] [垂直] の補正值) を入力します。  
 ※テストパターンの補正值はデータごとに異なります。補正值はデータごとに設定してください。



#### 位置補正

水平:   mm

垂直:   mm

#### 8 [OK] をクリックする。

特色印刷データのサイズ調整が必要な場合は、続けて [サイズ補正をする] を行います。



## サイズ補正をする

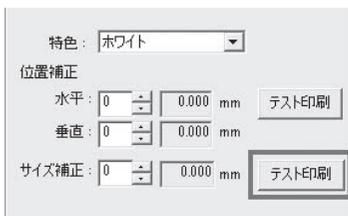
特色インクの印刷サイズを調整します。サイズ補正を行う場合、位置補正を先に行うことをお勧めします。



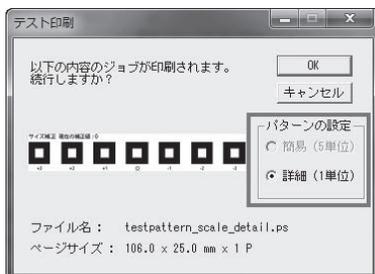
1 メディア  
2 プロセスカラー  
3 特色

### 手順

- ① 「ジョブリスト」からサイズ補正をする印刷データを選択し、ダブルクリックする。  
[A (B) 入力のプロパティ] 画面が表示されます。
- ②  をクリックする。  
[品質設定]の[モード]で、使用する特色インクモードを選択します。
- ③  をクリックする。  
[特色版補正]の[特色]リストボックスから補正する特色インクを選びます。
- ④ [テスト印刷] をクリックします。



- ⑤ [パターンの設定] を選択します。



簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。  
詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。

- ⑥ [OK] をクリックします。  
テストパターンが印刷されます。

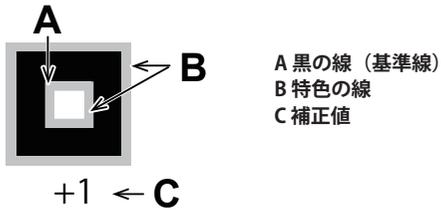
### サイズ補正值と印刷位置



#### ⑦ [サイズ] の補正值を入力する。

印刷されたテストパターンから、A（黒の線）とB（特色の線）とのずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されているC（[水平] [垂直] の補正值）を入力します。

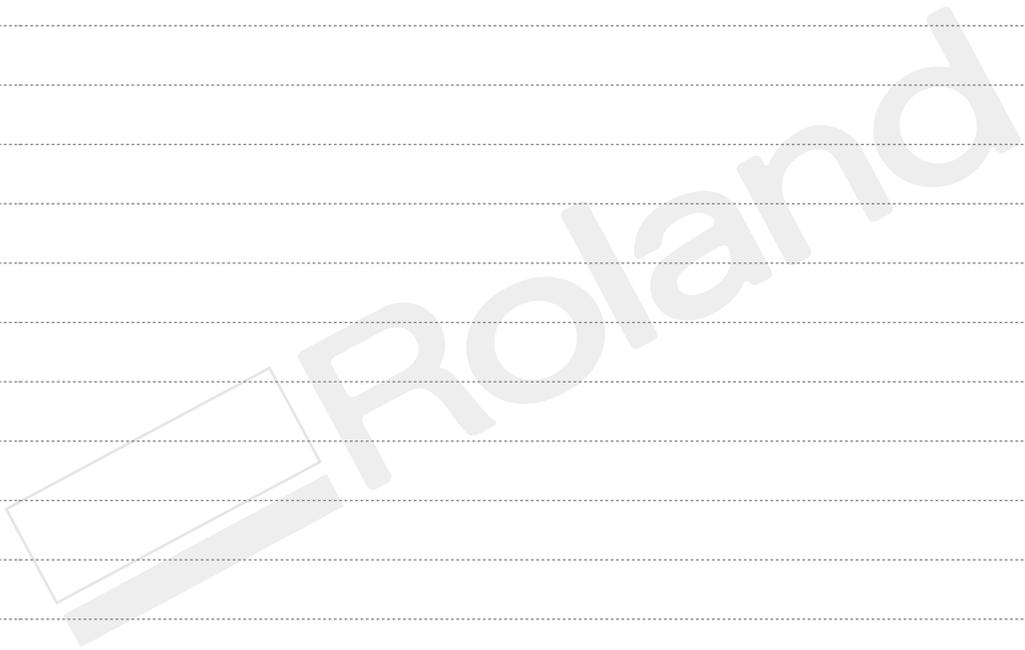
※テストパターンの補正值はデータごとに異なります。補正值はデータごとに設定してください。



サイズ補正:

#### ⑧ [OK] をクリックする。













1000015066

R8-151127